SQA-V　SEMEN ANALYSIS REPORT　精液分析レポートの見方

SQA-V SN　：シリアルナンバー _____

TEST DATE　：検査日 ____日/____月/____年　TEST TIME　：検査時間 ____時____分

PRINT DATE　：印刷日 ____日/____月/____年　PRINT TIME　：印刷時間 ____時____分

PATINT DATA：患者様情報

ID　：ID _____　BIRTH DATE：誕生日 ____日/____月/____年

ABSTINENCE DAYS　：禁欲日数 ____日（最終射精からの日数）

SAMPLE DATA　：検体情報

ACCESSION#　：　検体識別番号 _____

COLLECTED　：　検体採取時間 ____日/____月/____年____時____分

RECEIVED　：　検体受取日時 ____日/____月/____年____時____分

TYPE：　検体のタイプ（新鮮・調整・凍結・精管切除後 ）

VOLUME　ｍｌ　：精液量 ____ｍｌ（ミリリットル）

WBC CONC.　<=1M/ml(normal)　・>1M/ml(abnormal)　：白血球（正常・異常）

PH：ペーハー値（測定、入力していない場合は無記入です）

APPEARANCE　(NORM･ABNORM)　：精液性状（正常・異常）

LIQUEFACTION (NORM･ABNORM)　：液化状況（正常・異常）

VISCOSITY　(NORM･ABNORM)　：粘　　度（正常・異常）

TEST RESULTS　：検査結果　WHO 第３版による下限値基準

CONC. (Sperm Concentration)　：精子濃度 ____×１０^{6}/ml [20X10^{6}/ml]

MOTILITY　：運動率 ____% [50%]

PROGRESSIVE MOTILITY　：前進運動率

RAPID　<a>　速度が速く直進する精子 ____% [25%]

SLOW　<b>　速度が遅い又は直進性が不良な精子 ____%

NONPROG.　<c>　頭部又は尾部の動きはあるが前進していない精子 ____%

IMMOT.　<d>　非運動精子 ____%

＊MORPH.NORM.FORMS　：正常形態率 ____% [30%]

正常形態率は精子の運動性から解析により算出された推定値になります。

正常形態率が 30%未満でも、PMSC<a>や SMI が高ければあまり心配は要りません。

MSC（Motile Sperm Concentration）　：運動精子濃度 ____×１０^{6}/ml

PMSC（Progressive MSC）<a>　：高速前進運動精子濃度<a> ____×１０^{6}/ml

PMSC（Progressive MSC）<b>　：低速前進運動精子濃度<b> ____×１０^{6}/ml

FSC（Functional Sperm Concentration）　：機能性精子濃度 ____×１０^{6}/ml

VELOCITY　：平均精子速度 ____mic/sec

SMI（Sperm Motility Index）　：精子自動性指数 _____

TOTALS PER EJACULATE：１射精あたりの総精子数

SPERM＃　：総精子数 ____（百万）　MOTILE SPERM：運動総精子数 ____（百万）

PROG.SPERM　：直進運動総精子数 ____（百万）　FUNC.SPERM：機能性総精子数 ____（百万）

１ml の精液の中に存在する精子の数を精子濃度といい、その中で運動をしている精子の濃度を MSC と呼び、そのうち高速直進運動をしている精子の濃度は PMSC<a>と呼ばれ受精に最も深く関与しています。受精能力を判定するには運動精子濃度にスピードも考慮して数値化した SMI を判定に使うケースも増えています。その判定の基準は下記の通りです。

SQA-V での精子の判定基準

	SMI	PMSC<a> (×10^{6}/ml)	PMSC<a+b> (×10^{6}/ml)	FSC (×10^{6}/ml)
下限基準値	80	5	10	3

＊　WHO（世界保健機関）の調査では、精子の運動性や濃度は体調やストレス等により大きく変わることがあるので、今回虚弱に分類されてしまった方でも喫煙、飲酒、睡眠不足、ストレスなどを減らし再検査を受けることで正常値を得られることもあるので、あまり心配せずに体調管理を心がけて再検査を受けることをお勧めします。